

1 学校教育目標
やさしく かしく たくましく 一東っ子に自信と誇りを HEART CHALLENGE POWER 思いやりと感謝の心を持ち、自ら学ぶ意欲のある、やさしく、かしく、たくましい児童の育成

2 学校経営ビジョン
<p>＜めざす児童像＞：思いやりと感謝の心を持ち、自ら学ぶたくましい子ども</p> <p>○やさしく：思いやりと感謝の心を持ち、だれとでも仲良くし、命を大切に子ども HEART</p> <p>○かしく：基礎的基本的な知識・技能を身につけ、自ら学び自ら考える子ども CHALLENGE</p> <p>○たくましく：よく働き、体を鍛え、何事にもねばり強くやり通す子ども POWER</p> <p>＜めざす教師像＞：教師としての熱意と指導力を持ち、人間性豊かな教師</p> <p>○わかる授業に徹し、児童の個性を伸ばす教師 ○自己の使命感と目標を持ち、指導力・ICT活用力を伸ばす教師</p> <p>○児童のよさを見つけ、ほめ、励まし、的確に指導する教師 ○児童と共に学び、共に行動する教師</p> <p>○教育公務員としての自覚と責任を持った教師 ○児童や保護者、地域の人から信頼される教師</p> <p>＜めざす学校像＞：元気いっぱい、夢のある学校</p> <p>○すべての児童が元気に学習し、生活できる学校(共育)</p> <p>○児童と教師で創る明るく夢のある学校(協育)</p> <p>○地域に根ざし、地域とともに伸びる学校(郷育)</p>

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
<p>◎基礎学力の定着と確かな学力の向上を図る。</p> <p>◎指導方法の工夫改善と個に応じた指導の充実、電子教科書・黒板の活用推進を図る。</p> <p>◎教職員の資質と指導力・授業力・教師力の向上を図る。</p> <p>◎健康づくりと体力づくりを推進する。</p> <p>◎生徒指導の充実と特別支援教育及び人権教育の充実を図る。</p> <p>◎地域の教育力の活用と情報の発信により、信頼される開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>◎地域連携による安全安心な学校づくりを推進する。</p>	<p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科(読解)における「確かな学力を身につけさせる教科学習の在り方(指導方法の開発)三年次」に取り組み、読みの観点に基づいた発問の工夫や授業展開を練り上げるチーム力、TTによるきめ細かな指導・模擬授業による「わかる授業の開発」や、モジュール学習等による基礎基本の徹底、学習・生活習慣の定着を図る取り組みにより、基礎学力の定着と確かな学力の向上、指導力の向上にある程度の成果をあげることができた。</li> <li>・生徒指導及び教育相談と特別支援教育や人権教育への全校的取り組みにより、不登校ゼロ、楽しく差別のない学級・学校と、生活の決まりを守り友達を大切にすあたたかい人間関係を築くことができた。</li> <li>・校内研修による職員の危機意識の高揚と保護者・地域との連携により、児童の安全に対する意識と職員の服務規律遵守に対する意識を高め、事故・事件等の被害や服務規律違反を予防することができた。</li> </ul> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着と確かな学力の向上(国語「聞く・話す」領域、算数「数量関係・図形」領域)。</li> <li>・指導方法の改善と個に応じた指導の充実・指導力の向上。電子黒板・デジタル教科書の活用推進。</li> <li>・食育や歯・口の健康づくり、生活習慣の形成等と体力づくりの推進。・危機管理体制の整備と危機意識の向上。</li> <li>・学校運営組織の見直しと活性化による学校教育目標の具現化・地域の教育力の活用と情報の発信・共有化。</li> </ul>

5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校経営方針の周知	・学校教育目標と本年度の重点目標の周知	・教職員・児童・保護者に周知し、周知度を85%以上にする。	・職員会議、全校朝会、学級の時間等で説明、周知する ・学校便り、育友会総会、学級懇談会、地区懇談会、ホームページ等で説明、周知する。
	○開かれた学校づくり	・学校情報の発信 ・学校公開 ・学校評価の公表	・学校便り、学級便り等の発行と、ホームページの更新により学校の情報を発信する。 ・授業参観や学校行事を地域に広く公開し、オープンスクールを年間3回開催する。 ・児童・保護者・職員・学校評議員による学校評価や学校関係者評価に取り組み学校改善を図る。	・学校便り等を毎月発行し配付する。(保護者・地域等) ・授業参観や学校行事を全て公開し、案内を公民館を通して地域にも配布または回覧する。 ・ホームページの更新を定期的に行う。(月1回以上) ・学校評議員会の実施(年間3回以上)。 ・学校評価の公表と学校関係者評価の実施。 ・地域住民との交流の機会(やってみゆい祭、菊の苗植えなど)を設定する。
	○安全安心な学校づくり	・校内外の児童の安全確保 ・危機管理体制の整備 ・地域との連携	・施設点検の確実な実施、並びに校内での児童安全に努める。 ・校内研修等で、危機管理マニュアルに基づいたシミュレーションを実施する。 ・避難訓練の実施により避難の仕方を身につけさせるとともに、危機意識を高める。 ・地域との連携による安全管理体制を整える。 ・校内事故、交通事故等の予防に努め、発生を0にする。	・危機管理マニュアルを見直し、訓練や研修会を実施する。 ・遊具等の安全点検を定期的に行い、改善を図る。 ・校内の安全パトロールを計画的に実施する。 ・地域の危険箇所を把握し、地域との連携による安全体制を整え、事故や犯罪防止に努める。 ・危険箇所マップの見直しをする。
	○教職員の資質向上	・指導力の向上 ・服務規律保持の徹底	・全職員が年1回以上の授業を公開し、指導力の向上を図る。 ・教職員の綱紀粛正と服務規律の保持に努め不祥事案を0にする。 ・職員研修の内容を充実させ、資質向上を図る。	・校内研究の国語科だけでなく、指導方法の改善や特別支援教育等の分野での授業公開を行う。 ・校内研究を含めた職員研修を年20回以上実施する。講師を招聘し、理解向上に努める。 ・不祥事案等服務についての事例研修会を実施する。 ・評価・育成システムの実施により能力開発に取り組む。
	○家庭・地域との連携	・育友会との連携 ・地域との連携	・特に、運動会、相撲大会は、地域と協力体制を密にし実施する。教育フェスタ等学校行事は、地域へも発信する。 ・町文化祭など地域行事にも参加する。 ・各種行事参加率80%、地域住民の参加50名以上を達成する。	・各種行事等への案内状を早期に配布または回覧する。 ・公民館と協力して行事や情報の発信に取り組む。 ・地域行事、会合に積極的に参加する。 ・オープンスクールの案内を回覧板で全町に知らせる。
	○学校運営組織の活性化	・学校運営組織の見直し	・学校教育目標の具現化の視点から校務分掌組織を見直し、学校運営の活性化を図るとともに、目標の実現をめざす。	・学校運営組織を学校教育目標と関連づけた組織に編成する。 ・学校目標の実現をめざして各部の計画を見直す。 ・リーダーを中心にPDCAのマネジメントサイクルに基づき、効果的・効率的に内容の改善を図り目標の実現をめざす。

教育活動	●学力の向上	・基礎学力の向上 (国語・算数)	・基礎基本の定着を目指した指導方法を開発し、授業内容がわかりやすいと思う児童を90%以上にする。 ・漢字・算数・音読暗唱検定での合格者を90%以上にする。 ・CRT学力検査(国語・算数)の3段階評定で、2・3の評定の児童を80%以上にする。	・主に国語科・算数科で基礎基本の定着をめざした指導方法の改善を行う。 ・朝の時間(15分)を活用し、音読暗唱・漢字・計算の習熟を図る。 ・市で作成した漢字・計算テスト(年間10回)や、校内で作成した漢字・算数検定(年間2回)を実施し、学力向上をめざす。 ・年間を通して、音読暗唱検定を実施し、たっさんの名文に触れさせ、言語意識を高める。 ・4月に国語科・算数科の学力検査を実施し、指導の重点化を図る。
		・読解力の向上 ・国語の授業力の向上	・校内研究で「確かな読みの力」をつける指導方法の開発(3年次)に取り組み、読解力の向上を図る。 ・国・県の学習状況調査、学力検査(CRT)、単元テストの「読む」領域のポイントを1ポイント以上あげる。 ・国語の授業公開と模擬授業をそれぞれ1回以上実施し読解力と指導力の向上を図る。	・東っ子のまなび(1～6年)学校編・家庭編、家庭学習の手引きを活用する。 ・「正確さ」「明確さ」「的確さ」の三つの確に基づいた年間指導計画を作成する。 ・年間計画に基づいた発問研究と授業実践(分析)に取り組む。 ・全学級年間1回以上の授業公開と模擬授業を実施し実践研究を行う。 ・中間発表会を実施し、授業公開や研究会を通し研修を深める。
		・個に応じた指導の充実と 確かな学力の向上	・国語科・算数科を中心に、チームティーチング及び 少人数指導によるきめ細かな指導を計画的に実施する。 ・知識・技能に加え学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、 自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力の 確立をめざす。	・国語科・算数科で、毎週1・2年で2時間、3・4年で4時間、5・6年で5 時間のTT及び少人数指導によるきめ細かな指導に取り組む。 ・習熟度別学習に取り組む、個人差に対応する。
	●心の教育	・道徳教育の充実	・思いやりの心と規範意識、道徳的実践力を身につけさせる。 ・道徳の授業を公開し、道徳の授業力の向上を図るとともに、 学校・家庭・地域と連携した道徳教育に取り組む。	・ふれあい道徳を授業参観等で年間1回以上公開する。 ・ふれあい道徳の公開の様子・感想等学校便り等で知らせる。 ・心のノートを活用と人材の活用を図る。 ・体験活動との関連を図った授業を実践する。 ・教育活動全般を視野に入れ、道徳性を育成する。
		・人権・同和教育の推進	・自他共に大切に、認め合う差別のない集団づくりに 努める。 ・学校が楽しいと答える児童が90%以上になることを めざす。	・生活アンケートを毎月実施、年間2回学級集団アセスメントを実施し、 児童の状況把握を行い、いじめ等を早期発見し適切に対応する。 ・人権週間に全校人権集会や人権標語に取り組む。 ・異学年によるグループを編成し、なかよし活動(共遊・掃除・遠足・運動 会等)を実施する。
		・生徒指導と教育相談の 充実	・あたたかい人間関係と社会性を育てる。 ・生活の決まりを守ることができる児童が90%以上を めざす。 ・自尊感情を高め、共生の心を育てる。	・支援が必要な児童に関して、個人カルテ(プロフィール)を作成・共有し 支援に当たる。 ・支援が必要な児童や問題行動について、毎週、職員連絡会で情報交 換し共通理解を図ると共に協力して問題を解決する。 ・スクールカウンセラーによるグループエンカウンターを取り入れる。 ・教育相談に関する事例研修会を実施する。 ・生活アンケート実施により児童が抱える問題の早期発見に努める。
	●健康・体づくり	・望ましい食習慣と健康の 自己管理能力の育成	・食に関する指導を充実する。(学級活動・児童会活 動・家庭科等) ・健康に関心を持ち、自分の生活習慣を見直しよりよ くしようとする意欲と態度を身につけさせる。	・食に関する年間計画を作成する。 ・栄養士や養護教諭との連携による指導実践を行う。 ・給食週間に児童会等で食に関する活動に取り組む。 ・学級活動や保健・家庭科等での保健指導を通して、健康に関心を持た せる。
		・望ましい生活習慣の形成 と体力づくり	・生活習慣に関し、定期的に点検を行い90%達成を めざす。 ・外遊びと体力づくりに努める。 ・保護者と連携し望ましい生活習慣の育成を図る。	・各学年における「東っ子の学び」を活用し、早寝・早起き・朝ごはん など、基本的な生活習慣の定着をめざし、全校で取り組む。 ・外遊びを奨励し、体育の時間を通して体力づくりを行う。 ・学校便り・保健便り・ノーテレビ・ノーゲームデー便り・給食便り・育友会 広報誌等で呼びかけ、意識の向上と習慣の定着を図る。 ・ノーテレビ・ノーゲームデー便りを月1回発行し、読書の推進、生活改 善など家庭との連携を図る。
	○教育課程	・教育課程編成の工夫 ・新教育課程への理解	・新教育課程の編成を工夫する。 ・新教育課程の実施に向けて、趣旨・内容等の理解を 図る。	・各学期の中間と終わりに評価と見直しを行う。 ・毎月授業時数の集計を行い、計画の進捗状況を確認し確実に授業時 数を確保する。
	特定課題	●小学校低学年の学 習環境の改善充実	・少人数指導による基本 的な学習習慣・生活習慣 の定着	・基本的な学習習慣の定着度90%以上を目指す。(相 手を見て聞く・正しい姿勢・ノートの取り方・家庭学習の 習慣・読書の習慣・その他学習のしつけ) ・基本的な生活習慣の定着度90%以上を目指す。(時 間を守る・整理整頓・元気のよい挨拶と返事・早寝・早 起・朝ご飯・学習の準備)
○2学期制の充実		・2学期制による教育活動 の充実	・2学期制についての理解・効果的運用を図る。	・新1年生保護者への2学期制への理解を促進する。 ・2学期制導入の経緯や主旨について学校便り等で知らせる。
○特別支援教育の推 進		・特別支援教育の推進	・特別支援教育への理解と専門性を高める。 ・児童の実態を把握し、障害に応じた指導を工夫する。 ・個別の支援計画を作成、継続・連携して指導にあ たる。 ・家庭や専門機関との連携を深める。	・講師招聘による職員研修を実施する。 ・職員の共通理解を図るために校内委員会を年間3回、校内研修会を 年間2回実施する。 ・家庭や専門機関と連携し、個別の支援計画を作成・更新する。
○外国語教育の推 進		・新教育課程の実施に向 けた外国語活動の推進 ・国際理解教育の推進	・児童が興味を持って「聞きたい」「話したい」と思 えるような外国語活動を実施する。 ・外国語活動の指導力を高める。 ・外国語活動に意欲的に参加できる児童を90%以上 にする。	・全学年に英語活動の時間を位置づける。(年間1・2年:6時間 3・4 年:13時間 5・6年35時間) ・年間計画を作成し、授業実践に取り組む。 ・担任が中心となり、外部講師(ALT等)とのチームティーチングに積極 的に取り組む。

## 6 総合評価

## 7 来年度の改善策